

別紙2

デモンストレーションシナリオ

1 シナリオ①

総務課に県からメールにて照会文書が届いた。

この照会は定期的に県から依頼のある照会で、昨年度に回答した際の文書を参考に回答案を作成し、総務部長決裁を経て県に回答する。

2 決裁ルート

担当者 → 係長 → 課長補佐 → 課長 → 部長

3 内容

(1) 収受

(ア) 収受に必要な情報を入力し、以下の文書を添付する。

- ・県からの依頼文書（PDF 形式）

(2) 起案

(ア) 収受登録した文書から起案を行う。

(イ) 過去の起案を文書検索し、起案文書を参考する。

(ウ) 今回の起案の関連文書として文書検索を行い、参考とした文書を添付する。

(エ) 担当者において、以下の文書を添付する。

- ・送付状（データ拡張子は” docx” ）
- ・マクロ付き回答票（データ拡張子は” xlsx” ）

(オ) 起案文書を保存する簿冊（ファイル）を作成・設定の上、上記2のとおり決裁ルートを設定し、起案する。

(3) 回議

(ア) 係長にて、「回答票（データ拡張子は” xlsx” ）」の軽微な誤りについて、自ら修正し承認者コメント欄で修正箇所を共有し承認する。

(イ) 課長補佐にて伺い文（要旨等）における修正指示の内容を記載し、担当者に差戻しする。

(ウ) 担当者において、(イ) までの時点における決裁の進捗状況をシステム上で確認の上修正し、再回議時にコメントまたは付箋機能を用いて、指示事項を修正し再回議した旨を共有し、課長補佐に再び回議する。

(エ) 課長補佐承認する。

(オ) 課長が不在のため、部長にて引上げ決裁する。

(カ) 課長にて後閲になった決裁文書を後閲する。

4 シナリオ②

住民から町民課が所管する事業に対して、情報公開の請求があった。

これを受け、町民課課長補佐、課長のほか、関係課及び町長で、協議した結果について、町長決裁を経て、住民へ回答する。

5 決裁ルート

【町民課】

【総務部】

【企画部】

課長補佐 → 課長 部長 → 部長 → 町長

6 内容

上記4のシナリオ②の実現方法について、設定および実演すること。

【留意事項】

- ・シナリオ①及びシナリオ②双方のデモンストレーションを実施すること。
- ・指定のシナリオが実現できない場合は、代替の方法によること。
- ・上記のほか、提案事業者よりアピールしたい点などがあればデモンストレーションの時間内で説明を行うこと。
- ・デモンストレーションにて過去の文書を引用して文書作成を行うため、事前にデモンストレーション用にダミー文書を1つ以上作成しておくこと。
- ・ダミー文書に事前に入力しておく内容について特に定めないが、入力必須項目については空欄にせず何かしらの情報（例：一戸町、テスト、〇〇〇等）を入力しておくこと。
- ・町の主な文書作成ツールとして JUST Office を利用しているため、JUST Office 環境を想定としたデモンストレーションが望ましい。JUST Office を用意できない場合は、JUST Office 環境下でも提案事業者製品が正常に動作することを説明すること。
- ・デモンストレーションはプレゼンテーションの開始の合図から 50 分間の間で実施するものとし、特に区切りは設けない。また、プレゼンテーションの説明に併せてデモンストレーションシナリオの一部を行うことも可とする。
- ・今回のデモンストレーションにかかる費用は提案事業者の負担とする。